

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第 99 回）に係る面談

2. 日時：令和 4 年 4 月 5 日（火）14:05～16:10

3. 場所：原子力規制庁 18 階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

長官官房

金子緊急事態対策監

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、正岡管理官補佐、高橋係員

大辻室長補佐、松田室長補佐、横山係長、久川係員、塩唐松係員

（テレビ会議システムによる出席）

審査グループ 地震・津波審査部門

江寿企画調査官、千明主任安全審査官

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長、高松原子力運転検査官、廣岡原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 7 名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 8 名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第 99 回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。
 - 3/16 地震発生後の福島第一原子力発電所の状況について
 - ◆ 今後の対応として、昨年 2/13 に発生した地震の対応と同様に設備点検を実施予定であり、その結果を踏まえ、設備の詳細点検及び耐震評価を実施予定。
 - ゼオライト土嚢等処理の検討状況について
 - 汚染水発生量の現状と今後の汚染水発生量抑制対策について
 - 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2022 年 3 月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）

- 原子力規制庁は上記の内容を確認するとともに、以下のとおりにコメントを行った。

【3/16 地震発生後の福島第一原子力発電所の状況について】

 - ◆ 3/16 の地震により顕著になった護岸部表面の地割れ/地盤の沈下等について、

今後建設される ALPS 処理水放出施設に影響を及ぼす可能性のある地盤等の不具合（護岸内地盤の吸い出し等）が発生していないかを確認し説明すること。

- ◆地盤の地震応答の増幅特性について、3/16 の地震における D エリア、H4 北エリア、K4 エリア、解放基盤面付近の各地震観測記録のフーリエスペクトル及び加速度応答スペクトルのデータを比較・分析したうえで、各エリアで差異がないことを説明すること。また、高台観測点と解放基盤面間のフーリエスペクトル比（応答倍率関数）について、設計用物性値を用いた地盤の地震応答解析の結果と地震観測記録を比較し、地震応答解析の設計モデルへ反映すべき事項の有無について説明すること。

【ALPS 処理水の海洋放出に係る実施計画変更認可申請の対応状況】

- ◆ALPS 処理水の海洋放出に係る実施計画変更認可申請の対応状況については、原子力規制庁より審査状況を説明する。

【ゼオライト土嚢等処理の検討状況について】

- ◆回収したゼオライト土嚢等の脱塩及び脱水作業の具体内容、並びに回収施設及び回収容器の設備の詳細設計の方針について説明すること。
- ◆回収したゼオライト土嚢等の管理方針及び方法を説明すること。

【汚染水発生量の現状と今後の汚染水発生量抑制対策について】

- ◆雨水及び地下水流入による汚染水発生量の抑制対策について、具体的なスケジュールと併せて時期ごとの目標値を示すこと。

- 東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

- 3月16日地震発生後の福島第一原子力発電所の状況について
- ALPS 処理水希釈放出設備及び関連施設の新設について
- ゼオライト土嚢等処理の検討状況について
- 汚染水発生量の現状と今後の汚染水発生量抑制対策について
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2022年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）